



平成19年7月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年11月28日

会社名 ゼネラルパッカー株式会社 (JASDAQ コード番号: 6267)
 (URL <http://www.general-packer.co.jp>)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 梅森 輝信
 問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役管理部長
 氏名 池澤 晃 (Tel: (0568) 23-3111(代表))

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- ・たな卸資産の計上は、前事業年度末の実地棚卸高を基準に算出した帳簿たな卸高によっております。
 - ・固定資産の減価償却費は、年度見込額のうち期間対応分を計上しております。
 - ・その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法によっております。
- ②最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成19年7月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年8月1日～平成18年10月31日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年7月期第1四半期	1,158 (102.5)	103 (—)	105 (—)	64 (—)
18年7月期第1四半期	572 (△7.0)	△51 (—)	△50 (—)	△30 (—)
(参考)18年7月期	4,394	278	285	154

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年7月期第1四半期	14 26	—
18年7月期第1四半期	△6 88	—
(参考)18年7月期	34 29	—

- (注) 1. 売上高におけるパーセント表示は、前年第1四半期に対する増減率であります。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。
 3. 当四半期数値は監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的に変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響を受けるため、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

当第1四半期における業績は、高機能・高価格機種種の積極的な新機種開発と営業活動の推進により、売上高・受注高ともに、前年同四半期を上回る状況でほぼ計画通りに推移いたしました。

売上高につきましては、主力の給袋自動包装機の販売台数が大幅に増加したことと、高額の新機種種の売上貢献があったことから、前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。また、損益面につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益が大幅に増加したことと、展示

会費用の減少等により販売費及び一般管理費が減少したことから、経常利益は大幅な増益となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は1,158百万円、経常利益は105百万円、四半期純利益は64百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年7月期第1四半期	4,725	2,765	58.5	615 30
18年7月期第1四半期	4,607	2,568	55.8	571 41
(参考)18年7月期	4,824	2,728	56.6	607 00

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年7月期第1四半期	91	△10	△25	1,626
18年7月期第1四半期	39	△241	△22	1,313
(参考)18年7月期	371	△284	△54	1,571

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権、たな卸資産の減少、有形固定資産の取得による支出の減少等により前第1四半期末に比べ312百万円増加し、当第1四半期末には1,626百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

また当第1四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は91百万円となり、前第1四半期の獲得資金39百万円に比べ51百万円獲得資金が増加いたしました。この主たる要因は、売上債権の減少額が前第1四半期に比べ大幅に少なくなったものの、税金等調整前四半期純利益が前第1四半期には50百万円の損失であったことに対して、当第1四半期では105百万円の利益計上をしていること、たな卸資産が前第1四半期の234百万円の増加に対し、当第1四半期は78百万円減少していること等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10百万円となり、前第1四半期の資金使用241百万円に比べ230百万円資金使用が減少いたしました。これは、有形固定資産の取得による支出が前第1四半期の140百万円から当第1四半期においては1百万円と大幅に減少したことや、前第1四半期においては100百万円の定期預金への預け入れを行ったことに対し、当第1四半期は9百万円の預け入れに止まったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は25百万円となり、前第1四半期の資金使用22百万円に比べ2百万円増加いたしました。これは、前第1四半期の配当金の支払額が22百万円であったことに対し、当第1四半期における配当金の支払額は24百万円であったことによります。

3. 平成19年7月期の業績予想(平成18年8月1日～平成19年7月31日)

(中間)

	売上高	経常利益	中間純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	2,400	240	140
今回修正予想(B)	2,000	85	50
増減額(B-A)	△400	△155	△90
増減率(%)	△16.7	△64.6	△64.3
(ご参考) 前期実績(平成18年1月中間期)	1,620	65	42

(通期)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
予 想	4,600	400	235
前 期 実 績 (平成18年7月期)	4,394	285	154

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 52円28銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当中間期の売上高につきましては、当中間期に売上計上可能な受注残高が増加していることに加え、受注見込み案件も多かったことから、前年同期比780百万円の増加を計画しております。

しかしながら、第1四半期の受注高はほぼ計画通り推移するものの、第2四半期の売上に予定していた案件の受注が一部低調であったことや、売上計上時期が下期にずれ込む案件が発生したことにより、当中間期での売上高は期初の予想を下回る見通しとなりました。このため、当中間期の売上高予想を2,000百万円に修正いたします。

また、利益面に関しましては、第2四半期の売上高の減少及び高粗利益機種の販売台数が少ないことに伴う売上総利益の減少により、期初の予想を大幅に下回る見通しとなりました。このため、当中間期の経常利益予想を85百万円、中間純利益予想を50百万円に修正いたします。

なお、当通期に関しましては、第1四半期の受注高が前期を上回りほぼ計画通りに推移していることと、下期売上高に貢献可能な受注見込み案件が十分にあることから、中間期の修正分を回復することは十分に可能であると予想しております。

このため、上記の通り中間期の業績予想は修正いたしますが、通期の業績予想につきましては、平成18年9月8日付「平成18年7月期決算短信(非連結)」に記載の予想と変更はありません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1. 第1四半期貸借対照表

区分	前第1四半期末 (平成17年10月31日)		当第1四半期末 (平成18年10月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成18年7月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	1,313,551		1,626,350		1,571,167	
2 受取手形及び売掛金	852,900		1,007,545		1,203,943	
3 たな卸資産	1,024,418		904,707		983,553	
4 前渡金	76,775		—		—	
5 未収入金	368,675		200,618		96,765	
6 その他	38,285		40,667		28,213	
貸倒引当金	—		△23		△25	
流動資産合計	3,674,607	79.7	3,779,866	80.0	3,883,617	80.5
II 固定資産						
1 有形固定資産	631,111		614,061		619,136	
2 無形固定資産	2,343		2,349		2,120	
3 投資その他の資産	299,613		329,095		319,503	
固定資産合計	933,068	20.3	945,506	20.0	940,761	19.5
資産合計	4,607,675	100.0	4,725,372	100.0	4,824,379	100.0

区分	前第1四半期末 (平成17年10月31日)		当第1四半期末 (平成18年10月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成18年7月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1 支払手形及び買掛金	1,291,365		1,293,448		1,448,028	
2 賞与引当金	54,070		61,577		30,331	
3 役員賞与引当金	—		31,000		31,000	
4 その他	399,564		325,334		339,092	
流動負債合計	1,744,999	37.9	1,711,360	36.2	1,848,452	38.3
II 固定負債						
1 退職給付引当金	25,801		18,384		20,037	
2 役員退職慰労引当金	267,886		230,095		227,190	
固定負債合計	293,688	6.3	248,479	5.3	247,227	5.1
負債合計	2,038,687	44.2	1,959,839	41.5	2,095,680	43.4
(資本の部)						
I 資本金	251,577	5.5	—	—	—	—
II 資本剰余金	282,269	6.1	—	—	—	—
III 利益剰余金	2,011,620	43.7	—	—	—	—
IV その他有価証券評価差額金	24,176	0.5	—	—	—	—
V 自己株式	△655	△0.0	—	—	—	—
資本合計	2,568,987	55.8	—	—	—	—
負債資本合計	4,607,675	100.0	—	—	—	—
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金			251,577	5.3	251,577	5.2
2 資本剰余金			282,269	6.0	282,269	5.8
3 利益剰余金			2,206,852	46.7	2,169,734	45.0
4 自己株式			△1,423	△0.0	△951	△0.0
株主資本合計			2,739,275	58.0	2,702,628	56.0
II 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金			26,258	0.5	26,070	0.6
評価・換算差額等合計			26,258	0.5	26,070	0.6
純資産合計			2,765,533	58.5	2,728,699	56.6
負債純資産合計			4,725,372	100.0	4,824,379	100.0

2. 第1四半期損益計算書

区分	前第1四半期 (自 平成17年8月1日 至 平成17年10月31日)		当第1四半期 (自 平成18年8月1日 至 平成18年10月31日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成17年8月1日 至 平成18年7月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	572,225	100.0	1,158,851	100.0	4,394,974	100.0
II 売上原価	393,664	68.8	843,553	72.8	3,177,414	72.3
売上総利益	178,560	31.2	315,298	27.2	1,217,560	27.7
III 販売費及び一般管理費	229,611	40.1	212,240	18.3	939,180	21.4
営業利益又は 営業損失(△)	△51,050	△8.9	103,057	8.9	278,379	6.3
IV 営業外収益	781	0.1	2,929	0.2	9,096	0.2
V 営業外費用	209	0.0	—	0.0	1,518	0.0
経常利益又は 経常損失(△)	△50,478	△8.8	105,987	9.1	285,956	6.5
VI 特別利益	—	—	2	0.0	—	—
VII 特別損失	—	—	—	—	17,896	0.4
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△50,478	△8.8	105,989	9.1	268,060	6.1
税金費用	△19,549	△3.4	41,898	3.6	113,902	2.6
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	△30,928	△5.4	64,090	5.5	154,157	3.5

3. 第1四半期株主資本等変動計算書

当第1四半期(自平成18年8月1日至平成18年10月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	
				別途積立金	繰越利益剰余金
平成18年7月31日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	1,850,000	308,734
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△26,972
四半期純利益					64,090
自己株式の取得					
別途積立金の積立				100,000	△100,000
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(千円)	—	—	—	100,000	△62,881
平成18年10月31日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	1,950,000	245,852

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成18年7月31日残高(千円)	△951	2,702,628	26,070	2,728,699
当四半期中の変動額				
剰余金の配当		△26,972		△26,972
四半期純利益		64,090		64,090
自己株式の取得	△472	△472		△472
別途積立金の積立		—		—
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)			187	187
当四半期中の変動額合計(千円)	△472	36,646	187	36,834
平成18年10月31日残高(千円)	△1,423	2,739,275	26,258	2,765,533

4. 第1四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期	当第1四半期	前事業年度の要約
	(自 平成17年8月1日 至 平成17年10月31日)	(自 平成18年8月1日 至 平成18年10月31日)	キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年8月1日 至 平成18年7月31日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△50,478	105,989	268,060
2 減価償却費	6,500	5,933	26,586
3 売上債権の減少額	713,949	196,397	354,104
4 たな卸資産の減少額(増加額△)	△234,303	78,845	△193,438
5 未収入金の減少額(増加額△)	△166,893	△103,852	94,454
6 仕入債務の減少額	△169,757	△154,579	△13,094
7 前受金の増加額(減少額△)	18,000	20,560	△120,305
8 その他	△76,884	11,142	△14,830
小計	40,131	160,437	401,536
9 法人税等の支払額	△411	△69,685	△40,621
10 その他	△3	318	10,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,716	91,070	371,085
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	△100,000	△9,000	△153,000
2 有形固定資産の取得による支出	△140,478	△1,754	△149,234
3 その他	△1,201	△100	18,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,680	△10,854	△284,040
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	—	△472	△296
2 配当金の支払額	△22,906	△24,560	△54,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,906	△25,032	△54,300
IV 現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△224,870	55,183	32,745
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,538,422	1,571,167	1,538,422
VI 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	1,313,551	1,626,350	1,571,167